

はにわ通信

No.188 平成22(2010)年11月号



【むかしの暮らしを想像して～『粥見の遺跡まつり』の作品展示中です！～】

10月9日(土)、『粥見のいせきまつり』が開催されました。あいにくの空模様でしたが、市内各地からおよそ120名のみなさんに参加していただきました。会場となった粥見小学校体育館では、勾玉・土器づくりなどおなじみの体験のほか、今回は「クレヨンを使って縄文時代を描いてみよう」というコーナーを設け、たくさんの方がたに絵を描いていただきました。

その頃の様子を思い描いて絵にすることはなかなかむずかしいものですが、参加した子どもたちは、自分の知っていることや、今回まつりに参加して体験したことなどをもとに、縄文時代の人びとの暮らしを想像し、ここで紹介するような、とても楽しい絵が完成しました。その他にも、土偶の模様を自分で考えて描くぬり絵にも挑戦してもらいました。現在、これらの作品は、「はにわ館」ロビーで展示していますので、ぜひご覧ください。(担当)



展示の様子・作品

【霜の季節に】

山さびし 秋もすぎぬと つぐるかも 槇の葉ごとに おける朝霜
まき ふじわらの やつか
藤原 八束

槇のほそくてかたい葉のひとつひとつをまっ白にして、朝霜がおりている。秋の季節もすぎ去ったと知らせているのだろうか、山のさびしさがひとしお身にしみる。

夜の冷えこみがきびしさをますこの季節、文化財センターや鈴の森公園の一角でも、早朝かぎりのささやかな花をみる機会がふえます。いつもは目にとめることもない小さな冬草のひとつひとつに、霜の花がいっせいに咲き広がります。朝の光をうけ白いきらめきをほしいままにしながらも、やがて消えていく可憐な姿は、冬をつげるかけがえのない風物詩のひとつということができそうです。



* 藤原 八束
奈良時代中期の万葉歌人

(所長)

【文化財センター はにわ館・ギャラリー 11月の催し物予定】

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料。) 月曜日、祝日の翌日は休館です。

第1展示室 ・常設展「宝塚古墳の謎」
第2展示室 ・後期特別展「郷土刀と松阪～ものふの造形」10/24(日)～12/5(日)

【ギャラリー】 入場無料

- 第1ギャラリー ・平成22年度MOA美術館児童作品展 11/13(土)～14(日)10時～16時
・第39回全日本写真連盟松阪支部写真展 11/19(金)～21(日)*21日は16時まで
・アトリエイ絵画作品展 11/23(祝・火)～28(日)*23日は正午から、各日16時まで
- 第2ギャラリー ・ミルフルール フラワーアレンジメント展『ヨーロッパフラワーデザイン展～First～』
11/13(土)～14(日)*14日は15時まで
・はにわ作りの会作品展 11/27(土)～12/5(日)
- 第3ギャラリー ・伊藤具治絵画展 11/17(水)～20(土)*20日は15時まで
・松阪美術協会スケッチ展 11/21(日)～28(日)*21日は正午から、28日は16時まで
- 第1・2・3ギャラリー ・第51回 松阪市美術展覧会 第2部(写真・書道)～11/7(日)
*11/6は9時～19時、11/7は15時まで

開館時間：9時から17時(入館は16時30分まで)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>



バーコード読み取り
(文化財センター情報)